

第30回 甲南英文学会定期総会・研究発表会のご案内

2014年6月1日

甲南英文学会会長 高橋 勝忠

メール：els@konan-u.ac.jp

ウェブ：<http://www.konan-u.ac.jp/~els>

甲南英文学会会員各位

本年度の総会、および研究発表会・講演会を以下の要領で開催いたします。ぜひともご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日時：2014年6月28日（土）午後13時00分より

場所：甲南大学2号館 2階、221号教室、222号教室、223号教室

プログラム

13:00 -13:50 総会（2号館2階223教室）

議題

- 1 2013年度決算報告
- 2 2014年度予算案
- 3 甲南英文学会設立30周年記念事業
- 4 その他

報告

- 1 編集委員会より
- 2 その他

研究発表（14:00-16:20）

[英語学] 2号館2階223教室

・14:00-14:40

司会：福田 稔（宮崎公立大学）

「Usted abrió la caja, ¿no?—付加疑問文を再考する—」

根之木 朋貴（甲南大学 非常勤講師）

岡村ビクトル 勇（神戸市外国語大学 非常勤講師）

・ 14:50—15:30

司会：高橋 勝忠（京都女子大学）

「日本語の壁塗り交替の容認性は何によって決まるか？—目的語の組み合わせから生まれる語用論的な意味の影響—」

青木 奈律乃（甲南大学大学院生）

[英米文学・文化] 2号館2階221教室

・ 14:00—14:40

司会：中島 俊郎（甲南大学）

「Dickens による *Every Man in His Humour* の上演」

西條 隆雄（甲南大学元教授）

・ 14:50—15:30

司会：青山 義孝（甲南大学）

「画家の復讐—Henry James の作品に伏在する芸術家のルサンチマン」

中井 誠一（島根大学）

16:30-18:00

講演会（2号館2階223教室）

司会：中島 信夫（甲南大学）

「動詞の世界、名詞句の世界」

有村 兼彬（甲南大学）

（講演論旨）

動詞と名詞は様々な共通性を持ちながら、その性質は全く相反するものであると思われている。例えば **introduce** という動詞の世界においては副詞を伴い時制を持つことができるが、**introduction** という名詞の世界になると副詞ではなく形容詞が生じ、時制は持てないが複数化する可能性がある、などなど、その違いはいくつか思いつくことだろう。この捉え方は生成文法でも当然ながら継承され、名詞と動詞は相対立する素性構成を成すと言われてきた。しかし、一方で英語には動名詞と言うやっかいな表現形式があり、これの形式は副詞は認め

完了相さえ許容しながら、文法機能から見ると名詞である。しかし名詞でありながら冠詞は寄せ付けず複数化も認めないという実に不思議な特徴を持つ。このような英語における名詞の世界がこれまでどのように捉えられてきたか考え、特に派生名詞と呼ばれる名詞の分析の方向性を探りたいと思う。

18:10～20:00 **懇親会** (5号館1階 カフェ・パンセ)
どうかごぞってご参加ください。参加費1000円

【出欠について】

出席・欠席の旨は、メール添付ファイルの返信、または郵送の場合は同封のハガキにて、必ずお知らせください。欠席される方は、委任状にも署名・捺印をお忘れなきよう、よろしく願いいたします（メールによる返信の場合、捺印は不要です）。

【役員会について】

本年度の役員会は、10号館8 階準備室(L-810)にて午前11時より開催予定です。役員の方は万障お繰り合わせのうえ、ご出席をよろしく願いいたします。—